

マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）で
共用装置をご利用される方々へ

～利用料などを補助する制度があります～

令和7年度 試行的利用制度（概要）

目的

初めて共用装置のご利用を考えられておられる方に、利用料、旅費を補助することにより、アカデミアの研究者や中小・スタートアップ企業等の新しい研究開発の推進を支援することを目的とします

募集方法

上記の目的に合ったご利用課題を、支援機関と相談の上、利用者の方からARIMセンターハブに申請していただきます
本制度のご利用に当たっては、まず利用する支援機関とよくご相談下さい

申請の要件

- ・機器利用等で且つデータの提供など利用成果を広く社会に還元することが条件となります
- ・大学、研究機関の研究者、または中小・スタートアップ企業の利用者が初めてARIMをご利用される方に限ります

補助の内容

- ・補助金の額は、上限20万円です
- ・利用料補助の他、遠隔地の方には旅費の補助もあります

お問い合わせ

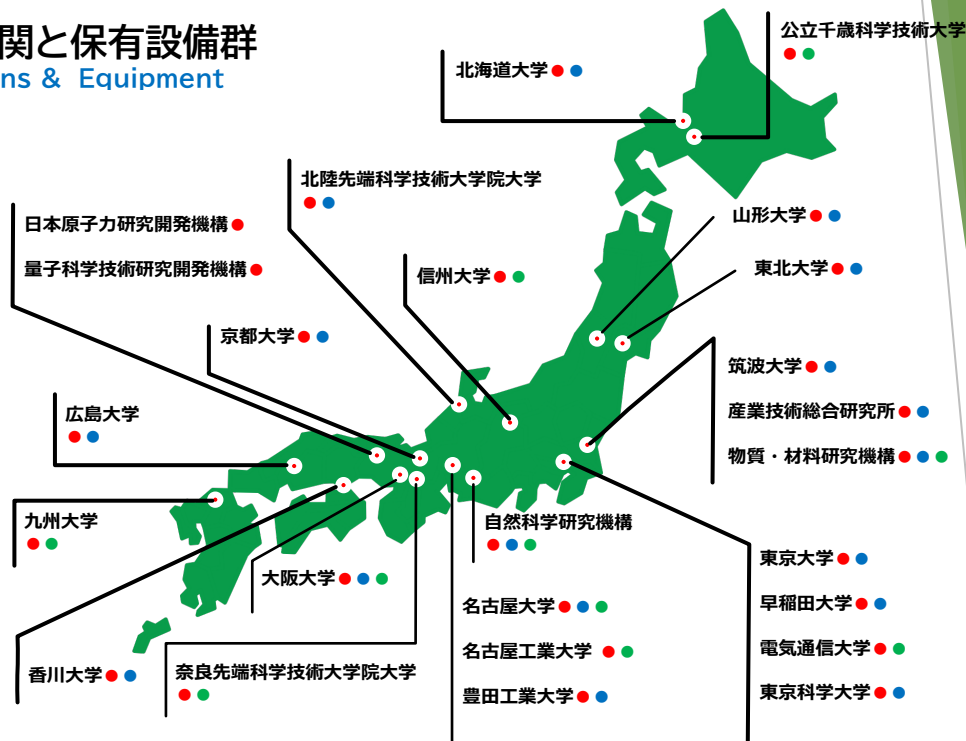
※詳しくは、ご利用される支援機関、あるいは
マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ事務局
までお問合せ下さい

マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ試行的利用事務局
E-Mail : arim-trial_use@nims.go.jp

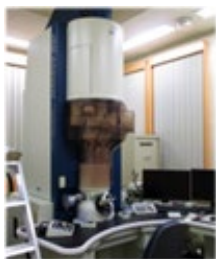


**全国25機関の最先端設備共用と技術サポートで
あなたの研究開発の課題を解決します**

支援機関と保有設備群



●計測・分析分野



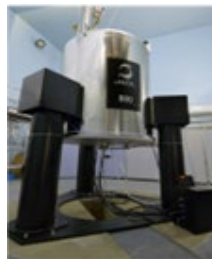
- 透過電子解析
- 走査電子/イオン解析
- X線回折
- 走査プローブ解析

●加工・デバイスプロセス分野



- 成膜
- リソグラフィ
- エッチング
- 熱処理・ドーピング
- 樹脂成形
- 機能評価

●物質・材料合成プロセス分野



- 共鳴分光
- 質量分析
- 光分光・顕微鏡
- 走査プローブ解析

約1100台の共用装置と専任技術スタッフによるサポートを提供します

共用設備検索サイト: <https://nanonet.go.jp/facility.php>



サポート内容

A variety of services

技術相談 | 専門技術でアドバイス

技術的な問題解決に向けて、各ハブ・スポーク機関の技術スタッフが様々な問題に応じます。



技術代行 | 利用者に代わり操作

依頼に基づきハブ・スポーク機関の技術スタッフが実験・測定・評価・解析を行います。



機器利用 | 利用者自身で操作

機器は利用者自身が
操作し、実験します。
データ解析や考察も
利用者が行います。



共同研究 | 利用者とハブ・スポーク機関が共同で実施

データの解析や学術的な議論を含めて、利用者とハブ・スポーク機関とが共同で行います。



技術補助 | 補助スタッフが補助

利用者は操作方法などについて、技術スタッフの補助を受けながら機器を使用します。



データ利用 | 蓄積したデータの利活用

蓄積したデータはデータベースとして用いる他、新たな情報を導き出す利活用が可能です。



設備利用の流れ

Flow of usage

利用相談/技術相談

利用申請、受付

装置利用

利用報告書提出/利用料支払い

NEW!